

2018年5月31日

イオン株式会社

6月は環境月間。豊かな環境を未来へ

全国約1,500店舗で「イオン ふるさとの森」植栽帯等の清掃活動を実施

地域の生物多様性保全に寄与するふるさとの森を守り、育てます

イオンは、環境月間である6月の「イオン・デー」（6月11日）に全国約1,500店舗で、「イオンの環境・社会貢献月間 クリーン&グリーン活動」として「イオンふるさとの森」植栽帯を中心とした清掃・除草活動を行います。

毎月11日の「イオン・デー」には、「クリーン&グリーン活動」として従業員が店舗や本社・事業所周辺の公園、河川敷、公共施設等の清掃活動を行っています。

「イオンの環境・社会貢献月間」に設定している6月と10月は、「イオン ふるさとの森」のメンテナンスを重点的に実施します。店舗の状況により、お客さまや「イオンチアーズクラブ」の子どもたちにもご参加いただいております。

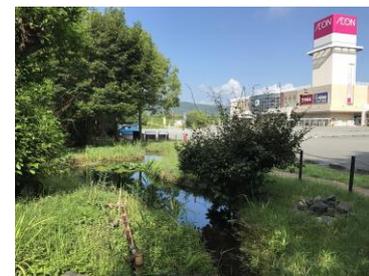
【6月の「イオンの環境・社会貢献月間 クリーン&グリーン活動」実施概要】

実施日： 6月11日（月）
（実施日が異なる店舗もあります）
店舗： 全国のグループ約1,500店舗
内容： 「イオン ふるさとの森」の植栽帯等の
清掃・除草等

昨年の「クリーン&グリーン活動」（イオン宇品店）



清掃・除草活動を行う場となる「イオン ふるさとの森」は、新店舗がオープンする際に近隣のお客さまとともに植樹し、育ててきた森です。「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念を具現化した活動として、1991年にマレーシアのジャスコマラッカ店（現 イオンマラッカショッピングセンター）で植樹をスタートして以来、「イオン ふるさとの森づくり」として国内外で継続しています。2013年には、（公財）イオン環境財団の実施する植樹と合わせた植樹本数が1,000万本を突破し、2017年度末（2018年2月末）時点では、約1,166万本となりました。



植樹から16年経過した「イオンモール富士宮」の「イオンふるさとの森」（コンテスト受賞写真※）

イオンの植樹は、地域の自然環境に最も適した、その土地本来の樹種を数十種類とり混ぜて植える手法で行っています。

この「イオン ふるさとの森」の生物多様性保全効果について、第三者機関に依頼して行った生物相の調査により、植樹から9年程度経過した森では鳥類が周辺住宅地よりも多く飛来し、15年程度経過した森はその生息空間となっていること、また、少ない樹種でつくられた植栽との比較においても鳥類が数倍多いことが定量的なデータとして確認されました。

イオンは、地域の植生に合わせた多様な木々を植えるとともに、適切な管理を継続的に行うことにより、生物多様性保全に寄与する森づくり推進してまいります。

※植樹スタートから25周年を迎えた2016年秋からの2017年秋までの1年は、従業員自らがイオンの植樹活動について改めて学び、体験する取り組みとして、「イオン ふるさとの森」の補植作業や、グループ入り間もない店舗での植樹の実施、写真コンテスト等を実施しました。

ご参考

【「イオン・デー」について】

2001年の社名変更（ジャスコ(株)からイオン(株)へ）を機に、毎月11日（いい日）を「イオン・デー」とし、イオンの全従業員が基本理念、および、その道しるべである「イオン宣言」を再確認し、良き企業市民として地域への貢献活動を行う日としています。

【クリーン&グリーン活動について】

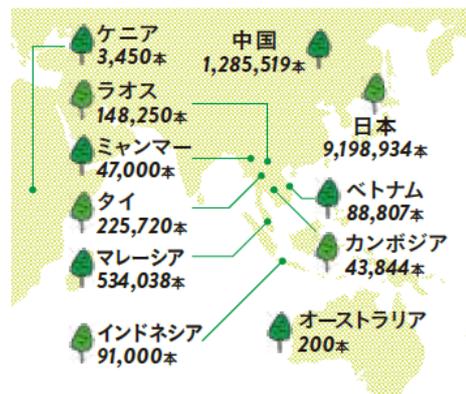
イオンは店舗周辺の町並みの美化に積極的に取り組んでいます。1991年から実施している「クリーン&グリーン活動」は、従業員がボランティアで店舗付近の公園や河川敷、公共施設等を清掃する取り組みで、2001年からは毎月11日の「イオン・デー」に継続的に実施しています。

【イオンの植樹活動について】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」ことを基本理念とするイオンは、経済成長の一方で大気汚染等の公害が社会問題となる中、自然の恵みを失うことは豊かさの根源を失うことであるとの危機感を抱き、地域に根ざす小売業としてできることを模索しました。そして1991年、マレーシアのジャスコマラッカ店（現 イオンマラッカショッピングセンター）の開店時から、新店舗がオープンする際に近隣のお客さまとともに敷地内に植樹を行う「イオン ふるさとの森づくり」をスタートしました。国内では翌年、三重県のジャスコ新久居店（現 イオン久居店）から開始しています。

また、1990年に設立した財団法人イオングループ環境財団（現 公益財団法人イオン環境財団）は、自然災害や伐採等で荒廃した森の再生を目指し、アジアを中心とした世界各国で、地域のボランティアの方々と協力して植樹活動に取り組んでいます。

2013年11月には、植樹本数が累計で1,000万本を突破し、これを機に次の1,000万本に向けて、「森の循環プログラム」をスタートしました。



11カ国での累計植樹本数
1,166万6,762本
(2018年2月末現在)

イオンの「森の循環プログラム」

「植える」「育てる」「活かす」活動を通じて、森の循環がもたらす自然の恵みを私たちの暮らしに役立てるため、植樹はもちろん、適切に管理された森から生産された木材を商品原料や店舗建設資材に活用する等、様々な取り組みを行っています。



イオン
森の循環プログラム
「植える」「育てる」「活かす」

- 《植える》地域のため、未来のために、次の1,000万本に向けて木を植え続けていきます
- 《育てる》森を育て、森の循環がもたらす恵みによって、人々の暮らしを豊かにすることを目指します
- 《活かす》適切に管理された森から生産された木材を、商品原料や店舗の資材に活用していきます